

「三徳の家庭菜園」 ③7

【ミズナ】～～鍋用からサラダ食でも人気が出た京野菜～～

ミズナ（水菜）は、アブラナ科の非結球性葉菜である漬け菜の一種で、分けつ性が強く、切れ込みのある葉に尖った葉先が特徴です。なお、ミズナ（壬生菜）はミズナの葉のギザギザがなくなった丸葉の変異種です。ミズナは、京都で発達したためキョウナ（京菜）とも呼ばれて、昔は鍋などの煮炊き用途が中心でしたが、近年は、シャキシャキした食感と癖のなさからサラダ用食材としても人気が出て、和洋中のさまざまな料理に使われます。

良いミズナを作るには、畝を乾かさないことが肝心で、株元に敷きワラなどをして水分保持に努め、かん水は頻繁に行いましょう。ミズナ栽培では、サラダ等の生食用途が中心の小株作りと、煮炊き用途が中心の大株作りの2通りがあります。いずれも基肥を全層に施して幅120～130cmの畝を立てますが、小株作りでは、この畝に条間を5～8cm採ってまき溝をつけて種子を直まきし、本葉4～5枚の頃までに1～2回の間引きを行い、最終的に10cm程度の株間にして育てます。その後、本葉が20～30枚と株がある程度の大きさに張って草丈が30cmほどに達したら順次根から引き抜いて収穫します。ミズナは、生育適温が15～25℃と冷涼な気候を好みますが、小株作りは栽培期間が短いので、種まきは3月から10月までの期間は可能です。

一方、ミズナの大株作りは、8～9月に種子を鉢かセルトレイに播いて苗を作り、苗が本葉5～6枚の頃に、条間を60cmで株間を約35cm採って浅植えします。定植後は苗が活着した頃とその2～3週間後、それに株の肥大期頃に追肥を施し、11～2月の冬季に4～5kgの大株に仕上げて収穫します。



●収穫が近づいたサラダ用のミズナ（小株採り；本葉が20～30枚で株張りがあって、草丈が30cm程度に達したら順次根から引き抜いて収穫します）



●株間狭いと株張りが十分でなく、反対に広すぎると葉軸が緑色になりやすく、さえた白色が出ません。

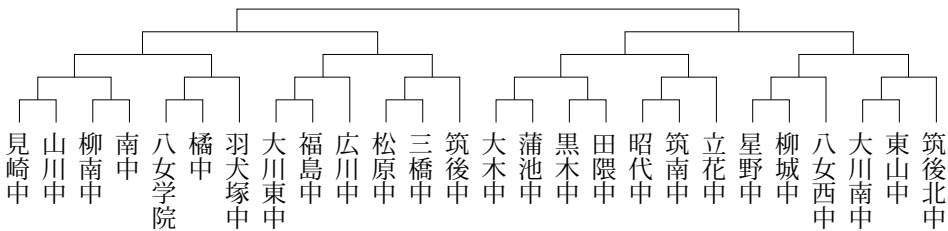
福岡県農業大学校 嘱託 林 三徳

第21回矢部川交流中学軟式野球大会開催

ヤンマー建機杯第21回矢部川交流中学軟式野球大会が4月9日(日)・15日(土)・16日(日)、福岡県・筑後市・八女市・広川町・柳川市・みやま市の各教育委員会の後援とヤンマー建機株式会社の地域支援活動の特別協賛を頂き本年は27チームの参加で開催します。みなさんの応援をお願いします。開会式は4月9日(日)8時30分よりヤンマー建機野球場で開催します。



写真は昨年第20回の準優勝校 八女西中学校(八女市) 優勝は大川南中学(大川市)



八女茶で健康 第21回「八女伝統本玉露」ニューヨークで大評判！

八女伝統本玉露推進協議会（会長 斉藤元）は、ニューヨークで「八女伝統本玉露」の商談会と“しずく茶”などのPRイベントを実施し、大きな反響を得ました。県茶連は同行していませんが事務局の一員として関係しておりますので、帰国報告のあった内容についてご紹介します。

実施日は、現地日時の平成29年3月8日～10日で、八女からは、伝統本玉露生産者、茶商、八女市職員の方々6名が出席されました。

最初に、開店前ではありますが現地のレストラン「MIFUNE」で商談を行いました。また、雑誌「Food & Wine」等100以上もの雑誌のブランドを束ね、イギリスのタイム・イングランドを所有する巨大メディア「Time Inc」社の本社を訪問し、玉露のしずく茶をPRしました。

さらに、アメリカで注目されているレストラン「Single Thread」の料理と八女茶のペアリング実施のほか、これとは別のレストラン「The Kitchen Table」にレストランオーナー、シェフを招き商談やPRを行いました。

現在、レストラン数店から商談に入っております。この取り組みは今後、数年間継続することとされています。成り行きは、随時お知らせしたいと考えております。



福岡県茶生産組合連合会事務局長 仁田原寿一

「八女農みらい館」での販売実習 八女農業高等学校

「八女農みらい館」は今年で13年目を迎え、多くの皆様にご利用いただいています。販売所では、レンゲ・アイガモ農法で栽培した「レンアイ米」、新鮮な卵や旬の野菜・果物、季節の花苗や鉢花・切り花、ペットボトル茶の「八農高茶（はつのうこうちゃ）」や煎茶、福岡県6次化商品コンクールで奨励賞を受賞した「八女農からの贈り物」ジャムセットの各種ジャムや焼き立てパン、本校の茶葉を原料にした「お茶クッキー」、堆肥やぼかし肥料など、たくさんの農産物を販売しています。

販売所は週2回（火曜、金曜）開館し、3年生の授業で販売実習を実施しています。自ら栽培・飼育・加工した農産物を自ら販売することは、生徒の学習意欲の向上を図る上でとても効果的です。また、本校の農業教育活動を地域の方々に理解していただき、連携を深めたいと考えています。

販売実習（接客マナー、農産物説明、レジ操作など）を通して、生徒にコミュニケーション力や経営感覚などを身に付け、自らも地域に貢献していることを自覚させるよう指導しています。今後とも地域の皆様のご協力をよろしくお願いします。



販売所「八女農みらい館」

4月の校内販売所(みらい館)の開館日

4日(火)、11日(火)、18日(火)、21日(金)、25日(火)、28日(金)

販売時間は、10時30分～15時30分です。

(※4月4日(金)の販売時間は、10時30分～12時30分です)

多くの皆様のお越しを心からお待ちしております。

クラッシー文芸

■筑後俳句会

建国日矢を射る友の澁刺と
リハビリに得たる自立や春隣
釜鳴りの湯気いや白し初稽古
青鷺の薄氷割りと立ちゆけり
命終ふ人それぞれや春落葉
待春や許嫁との初目見え
豆撒きの福をつかみに幼の手
鎮魂の祝詞に梅の香りけり

江崎かをり
城戸真子
菰原寿子
下川チトエ
白谷きよみ
平昌恵
辻八重子
永田富子

■上陽町陽泉俳句会

凍滝へ木木縫うて来し日差しかな
盆栽のしだれの先の緋毛氈
コンビニのわが町に来て冬うらら
にぎやかに五人姉妹や植木市
潮騒を聞いてバス路の梅盛り
老木にほころびかけし梅二輪
積雪や煌々として月満つる

吉泉守峰
城後正子
荒川ミヤ子
大坪延子
倉ノ下和代
中村境子
大坪清香

■立花短歌会

昔姫五人集いての誕生会ハープの鍋の香りに
包まれ
法要に親族集い会席を囲みて父のこと語り合
う
戦争の語り部という人もいる何も語らぬわが
母もいる
中庭の海の香漂う陽だまりは語らいの場わい
わいと来て
本棚に並び置きたる源氏物語真更なまに眠
り続ける
おだやかな波間に浮かぶ島じまに語り継がれ
る天草四郎
我は古希妻は還暦疾うに過ぎ冬の夜長に二人
語らう
赤々と古竹燃えて爆ぜる音眠れる竹林目覚む
るごとく
命日の西の浮雲母に似て手を合わせつつし
し語らう

樋口愛子
橋本泰州
桜木敦子
鶴隆治郎
中島睦美
松尾ミサキ
田中たつじ
井上精
野中裕政

